

# 自然に学び、先人に学ぶ

## No.3 ～自然と言霊に親しむ～

★★★動物の生活行動パターン★★★

\*動物は夜食べない(夜行性動物を除き)

\*寝るときは、仰向けに寝ない

\*座るのは休む(小休止)時だけ、起きている間歩き続ける

\*自然界の食べ物に添加物表示や消費期限、賞味期限というラベルはない

\*お腹が(ある程度)満たされれば食べない

### 自然とは？

人為によらずに存在している物や現象。人や物の固有の性格。ありのまま。ひとりでに。本来のままで人為の加わらない状態のこと。そこから、山・川・海・雨・風など外界・環境のことや本来備わっている性質。わざとらしくないさま。

### 学ぶとは？

教えを受ける。勉強する。元来は『真似をする』意を表していた。真似をして、知識や技術を身に付けるところから教えを受ける。勉強する意が生じた。(暮らしの言葉 語源辞典より)

私たちは生まれてすぐに父母や兄弟・姉妹など家族の言葉を真似はじめ、行動を供にすることで生きていく上で必要な所作を身につけて来ました。同じようなことの繰り返しから多くのことを学んできたのではないのでしょうか。この過程は地球創生からの営みの延長線上で今日に至っています。

人類の脳は、爬虫類から哺乳類へ、そして人間に至る進化の過程を表しています。この中から生きていく働き、たくましく生きる働き、うまく生きる働きを記憶(獲得)してきたようです。

前出の『学ぶ』は『習う』『慣う』『倣う』『真似る』を語源とすれば理解し易いと思います。

茶道や武道など『道』の世界や匠の仕事の修行で基本とされる守・破・離、『漢詩』や物事、文章の順序・組立てで外せない起承転結なども同じことに通じるものがあります。

人類の歴史は狩猟社会～農耕社会～工業社会～情報化社会～高度情報化社会へと進化(?)してきました。高度情報化社会と言っても、情報が高度であったり、高度な情報に満ち溢れてる訳ではありません。TV やインターネットなどマルチメディア、PC、スマホなどの情報化技術・手段が高度になっているだけで、流れ伝わってくる情報の内容が高度であることとは違います。どこかの、誰かの、ある目的(利益)のために加工された情報がほとんどでありまして、生きていく上で必要な五感(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)を使い、第六感(直感力)を働かせるような内容のものとはかけ離れていることを承知しておく必要があります。

自然界は全て相似の世界です。全ての問いに対する答えは既に自然の中に用意されています。動物の生態や行動パターンに倣う生活の仕方も真実に近づける答えの一つではないかと考えられます。

自然という師の元で、いつまでも『ハナが効く動物的人間』でいたいものです。

自然に学ぶ会